



2012年1月24日

## 北海道内で「環境循環型農業」を展開

### 農業会社『セブンファーム北海道』設立、20 ㌃の専用農場で生産開始

セブン&アイ・ホールディングス傘下の総合スーパー、株式会社イトーヨーカ堂（東京都千代田区、代表取締役社長 兼 最高執行責任者（COO）：亀井 淳、以下「当社」）は、2012年1月27日（金）、農業会社『セブンファーム北海道』を北海道上川郡東川町に設立し、当社初となる北海道内での「環境循環型（リサイクル）農業」を開始いたします。

当社が取り組んでいる「環境循環型農業」とは、イトーヨーカドー店舗から排出される食品残さ（生ごみ）を堆肥の資源として再利用し、当社が運営する専用農場に導入、そこで栽培～収穫された農産物を食品残さが排出された店舗等で販売するものです。今般の北海道での展開は、千葉、茨城、埼玉、神奈川に続き、全国5ヶ所目となります。

『セブンファーム北海道』は、当社の農業事業における中核会社「株式会社セブンファーム」（イトーヨーカ堂 100%子会社）と、法人拠点となる上川郡東川町の生産者、農産物の集荷や出荷、清算業務等を担当する「ファームファミリー株式会社」（旭川市）の3者による共同出資で設立される農業事業会社です。上記の生産者が所有する約20ヘクタールの耕作地でブロッコリーや大根、にんじん等の露地野菜を中心に栽培し、収穫した農産物のほぼ全量を北海道内のイトーヨーカドー店舗に出荷して販売いたします。

当社は2008年8月、企業の社会的責任（CSR）活動の一環として、食品リサイクルの向上と地域農業の活性化を目的に、セブン&アイグループ初となる農業生産法人「セブンファーム富里」（千葉県富里市）を設立し、「環境循環型農業」を小売業で初めて開始いたしました。その後、農場面積や栽培品目、収穫量等を拡大し、設立2年目以降に事業の黒字化を達成しております。

また、全国各地における農業法人の新規設立や事業拡大、食品リサイクル網の整備等を一元管理する中核会社「株式会社セブンファーム」を2010年5月に立ち上げ、全国10ヶ所への事業拡大を決定いたしました。中核会社の傘下法人として、現在までに富里の他、「セブンファームつくば」（茨城県筑西市、2010年9月設立、※事業会社）、「同 三浦」（神奈川県横須賀市、2010年10月設立、※事業会社）、「同 深谷」（埼玉県深谷市、2010年11月設立、※農業生産法人）の4ヶ所で「環境循環型農業」を展開しております。

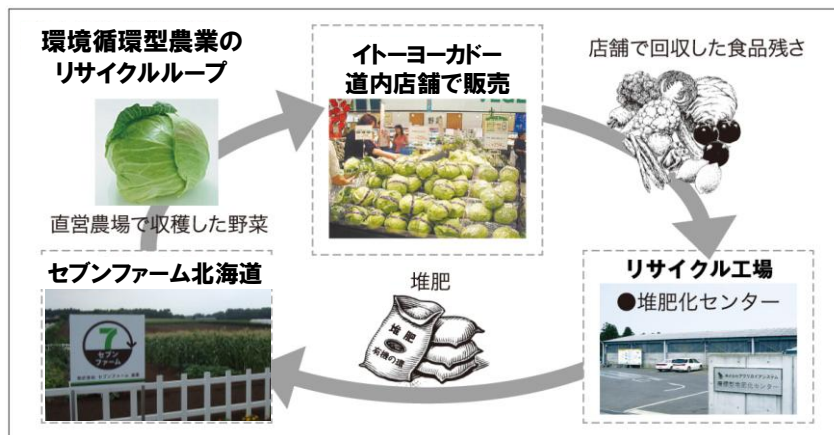
農業従事者の高齢化や耕作放棄地の増加、農地法の改正等、日本の農業を取り巻く環境は大きな転換期を迎えております。セブンファームは“日本の農業のお手伝い”という基本理念のもと、各地域ごとに最適な法人形態（農業生産法人もしくは事業会社）を設立し、持続可能な地域農業への貢献を図ります。

## 1. 『セブンファーム北海道』 法人概要

- 商号 : 株式会社セブンファーム北海道
- 所在地 : 北海道上川郡東川町西町 4-21-1
- 設立日 : 2012年1月27日(金)
- 代表者 : 代表取締役 恵本芳尚(えもと よしのぶ)  
兼 (株)イトーヨーカ堂 青果部シニアマーチャンダイザー  
(株)セブンファーム 取締役
- 出資構成 : 株式会社セブンファーム 85%  
地元生産者 10%  
ファームファミリー株式会社 5%
- 各社役割 : セブンファーム (農産物のマーケティング、全体統括)  
イトーヨーカドー (農産物の販売)  
地元生産者 (農産物の生産)  
ファームファミリー (農産物の集荷/出荷、清算業務)

## 2. 『セブンファーム北海道』の取り組みについて

- 農場名称 : セブンファーム北海道
- 所在地 : 北海道上川郡東川町西町 4-21-1
- 農場面積 : 約20ヘクタール
- 栽培品目 : ブロッコリー、大根、カボチャ、にんじん等の露地野菜
- 収穫量 : 約1,000トン(初年度1年間)
- 堆肥化 : 旭川店(旭川市)から回収し、旭川市内の堆肥化施設にてリサイクル
- 販売店舗 : 北海道内のイトーヨーカドー全12店舗で販売予定



## 3. 生産、販売スケジュール(予定)

- |         |                  |
|---------|------------------|
| 2012年3月 | ブロッコリーの種まき開始     |
| 5月      | 大根、カボチャ、人参の種まき開始 |
| 7~9月    | 収穫、販売開始          |

以上